



仮想インターフェイスの設定

ここでは、Nexus 5000 シリーズ スイッチの仮想インターフェイス設定について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- [仮想インターフェイスの概要 \(p.9-1\)](#)
- [仮想インターフェイスの設定 \(p.9-2\)](#)

仮想インターフェイスの概要

Nexus 5000 シリーズ スイッチは、I/O Consolidation (IOC) をサポートしています。IOC では、スイッチとサーバ間の同一の物理イーサネット接続でファイバ チャネルおよびイーサネット トラフィックを伝送できます。IOC の詳細については、[第 1 章「製品概要」](#)を参照してください。

仮想インターフェイスの概念は、同一物理イーサネット上で伝送される論理接続のエミュレートに使用されます。Nexus 5000 シリーズ スイッチは、仮想イーサネットおよび仮想ファイバ チャネル インターフェイスをサポートしています。

設定の目的で、仮想イーサネットまたは仮想ファイバ チャネル インターフェイスが物理イーサネット インターフェイスのレイヤ 2 サブインターフェイスとして実装されます。イーサネット インターフェイスに設定できる論理機能 (VLAN や ACL など) は、それぞれの仮想イーサネット インターフェイスに設定できます。論理ファイバ チャネル機能 (VSAN など) は、仮想ファイバ チャネル インターフェイスに設定できます。



(注)

仮想インターフェイスは、管理ステートが **down** に設定されている状態で作成されます。仮想インターフェイスを作動させるには、管理ステートを明示的に設定する必要があります。

仮想インターフェイスの設定

ここでは、仮想インターフェイスの設定方法について説明します。ここで説明する内容は、次のとおりです。

- VIG の作成 (p.9-2)
- VIG ウィザードの使用 (p.9-4)
- 物理イーサネットインターフェイスへの VIG のバインド (p.9-4)
- VIG の削除 (p.9-5)
- VI ウィザードの使用 (p.9-5)
- 仮想イーサネットインターフェイスの作成 (p.9-6)
- 仮想イーサネットインターフェイスの削除 (p.9-7)
- 仮想ファイバチャネルインターフェイスの作成 (p.9-8)
- 仮想ファイバチャネルインターフェイスの削除 (p.9-8)

VIG の作成

Virtual Interface Group (VIG) を作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Physical Attributes ペインで、**Switches > Interfaces > Ethernet > FCoE** を展開して、**Virtual Interface Groups** を選択します。

Information ペインに Virtual Interface Groups が表示されます (図 9-1 を参照)。

図 9-1 Virtual Interface Group Information ペイン

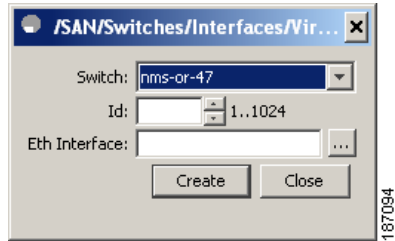
Switch	Id	Bound Eth Interface	Virtual Eth Interfaces	Virtual FC Interfaces	Operational Status	CreationTime
star	vig12	eth1/12	veth12/1	vfc12/1	down	2008/05/10-19:25:39
qa-nms-02	vig1	eth3/1		vfc1/1	up	2008/05/09-14:41:15
nms-eugene-02	vig1	eth1/40		vfc1/1	up	2008/05/09-13:03:37
nms-eugene-01	vig1	eth1/39		vfc1/1	up	2008/05/09-13:30:32
star	vig24	eth1/24	veth24/1	vfc24/1	down	2008/05/10-19:25:39
qa-nms-02	vig2	eth1/1	veth2/1		down	2008/05/09-14:41:15
star	vig35	eth1/35	veth35/1	vfc35/1	down	2008/05/10-19:25:39
qa-nms-02	vig3	eth1/40			down	2008/05/09-14:41:15
star	vig36	eth1/36	veth36/1		down	2008/05/10-19:25:39
star	vig40	eth3/1	veth40/1	vfc40/1	up	2008/05/10-19:25:39
qa-nms-02	vig46			vfc46/1	down	2008/05/09-14:41:16
star	vig41		veth41/1	vfc41/1	down	2008/05/10-19:25:39
qa-nms-02	vig50				down	2008/05/09-14:41:16
qa-nms-02	vig51	eth1/19			down	2008/05/09-14:41:16
qa-nms-02	vig52	eth1/20			down	2008/05/09-14:41:16
qa-nms-02	vig53	eth1/21		vfc53/1	down	2008/05/09-14:41:16
nms-eugene-02	vig2	eth3/2		vfc2/1	up	2008/05/09-13:03:38

187093

ステップ 2 Virtual Interface Group Information ペイン ツールバーで、**Create Row** アイコンをクリックします。

Create VIG ダイアログボックスが表示されます (図 9-2 を参照)。

図 9-2 Create VIG ダイアログボックス



ステップ 3 Switch プルダウン メニューからスイッチを選択します。

ステップ 4 Id フィールドに、VIG 番号を入力します。

ステップ 5 (任意) VIG にバインドする物理イーサネット インターフェイスを選択します。

Virtual Interface Groups テーブルに、新しく作成した VIG が表示されます。Create Virtual Interface Group ダイアログボックスの Id フィールドが 1 ずつ増加します。

ステップ 6 (任意) さらに VIG を作成するには、ステップ 3 ~ 6 を繰り返します。

ステップ 7 **Close** をクリックして、終了します。

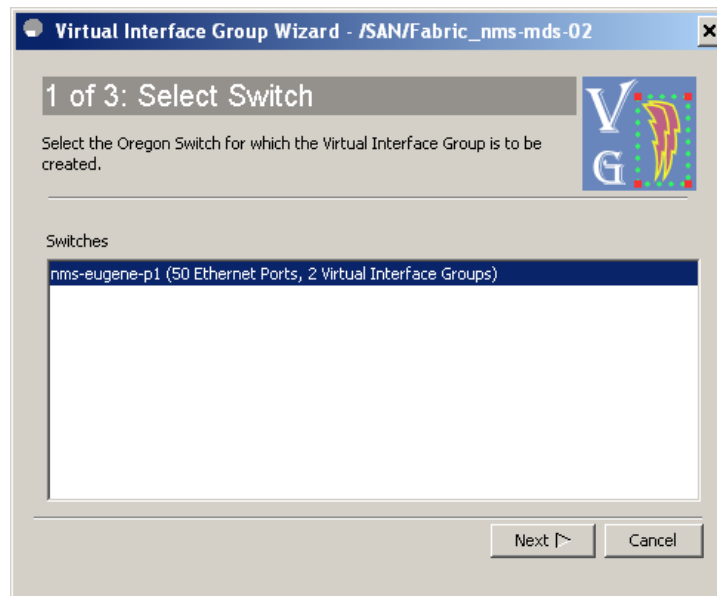
VIG ウィザードの使用

VIG ウィザードを使用して VIG を作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 ツールバーで **Virtual Interface Group** ボタンをクリックします。

Virtual Interface Group ウィザード ダイアログボックスが表示されます (図 9-3 を参照)。

図 9-3 Virtual Interface Group ウィザード



ステップ 2 Virtual Interface Group ウィザードの指示に従います。VIG が作成されるスイッチ、VIG に関連付けられる物理イーサネットポート、および VIG ID を選択します。

ステップ 3 **Finish** をクリックして、その変更をコミットして配信します。

物理イーサネット インターフェイスへの VIG のバインド

物理イーサネットポートに VIG をバインドする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Physical Attributes ペインで、**Switches > Interfaces > Ethernet > FCoE** を展開して、**Virtual Interface Groups** を選択します。

Information ペインに Virtual Interface Groups が表示されます (図 9-1 を参照)。

ステップ 2 変更する必要がある VIG の **Bound Eth Interface** エントリをクリックします。物理インターフェイスを入力します。

ステップ 3 **Apply Changes** をクリックして、その変更をコミットして配信します。

VIG の削除

VIG を削除する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Physical Attributes ペインで、**Switches > Interfaces > Ethernet > FCoE** を展開して、**Virtual Interface Groups** を選択します。

Information ペインに Virtual Interface Groups が表示されます (図 9-1 を参照)。

- ステップ 2** 削除する VIG を選択します。

- ステップ 3** **Delete Row** アイコンをクリックします。

削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

- ステップ 4** 削除するには、**Yes** をクリックします。

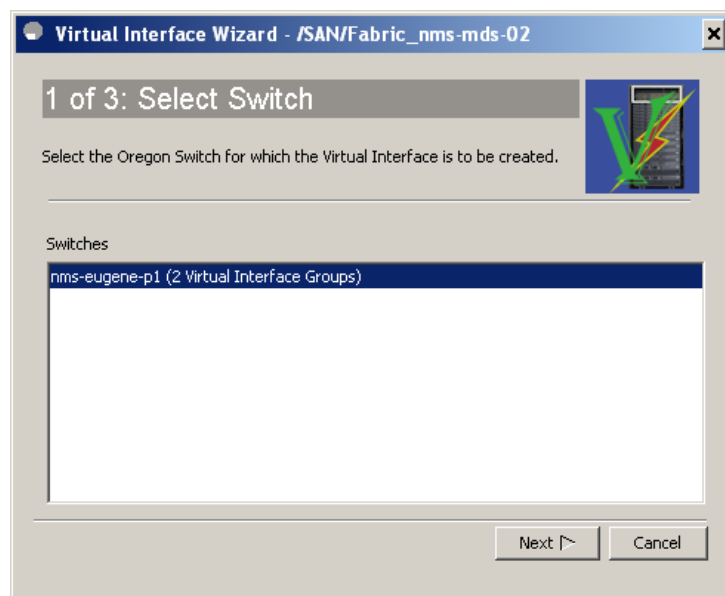
- ステップ 5** **Apply** アイコンをクリックして、変更を適用します。

VI ウィザードの使用

- ステップ 1** ツールバーで **Virtual Interface** ボタンをクリックします。

Virtual Interface Wizard ダイアログボックスが表示されます (図 9-4 を参照)。

図 9-4 Virtual Interface ウィザード



■ 仮想インターフェイスの設定

- ステップ 2** Virtual Interface ウィザードの指示に従います。Virtual Interface (VI) が作成されるスイッチ、VI を含める VIG を選択し、VI タイプ (イーサネットまたはファイバチャネル) を指定します。ウィザードは、VI ID を 1 に設定します。
- ステップ 3** **Finish** をクリックして、その変更をコミットして配信します。

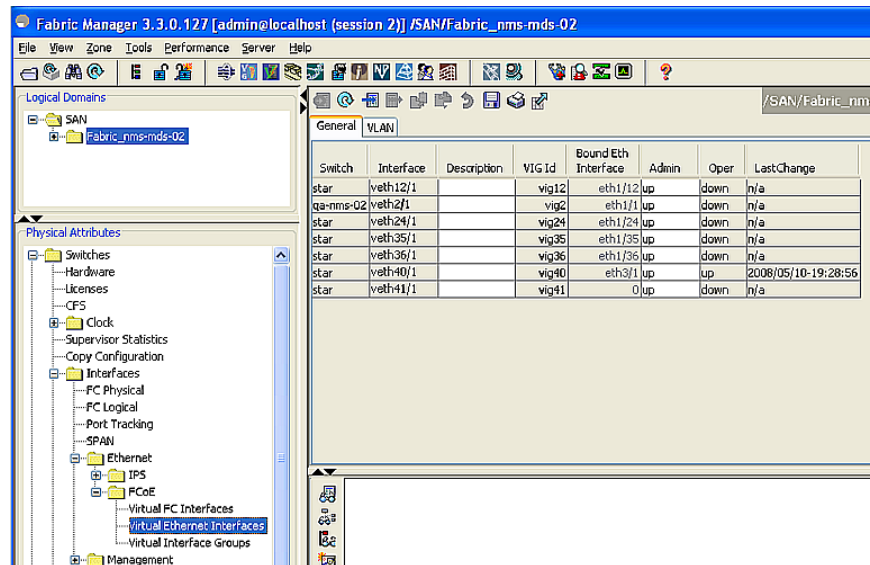
仮想イーサネット インターフェイスの作成

仮想イーサネットインターフェイスを作成する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Physical Attributes ペインで、**Switches**、**Interfaces**、**Ethernet**、**FCoE**、**Virtual Interfaces** の順に展開して、**Ethernet** を選択します。

Virtual Ethernet Information ペインが表示されます (図 9-5 を参照)。

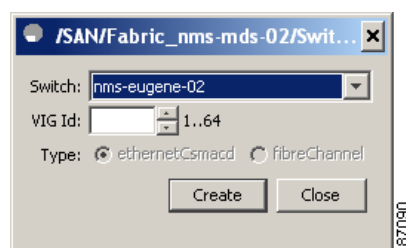
図 9-5 Virtual Ethernet



- ステップ 2** Information ペイン ツールバーで、**Create Row** アイコンをクリックします。

Virtual Ethernet ダイアログボックスが表示されます (図 9-6 を参照)。

図 9-6 仮想イーサネットの作成



- ステップ3 Switch プルダウンメニューからスイッチを選択します。
 - ステップ4 VIG ID フィールドに、VIG ID を入力します。VI ID は、1 に設定されます。
 - ステップ5 **Create** をクリックします。
 - ステップ6 Apply アイコンをクリックして、変更を適用します。
-

仮想イーサネット インターフェイスの削除

仮想イーサネット インターフェイスを削除する手順は、次のとおりです。

- ステップ1 Physical Attributes ペインで、**Switches > Interfaces > Ethernet > FCoE** を展開して、**Virtual Ethernet Interfaces** を選択します。

Virtual Ethernet Information ペインが表示されます (図 9-5 を参照)。
 - ステップ2 Information ペインの Virtual Ethernet の行を選択します。
 - ステップ3 Information ペイン ツールバーで、**Delete Row** アイコンをクリックします。
 - ステップ4 ダイアログボックスで削除を確認します。
-

仮想ファイバチャネルインターフェイスの作成

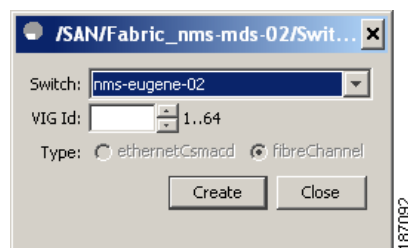
仮想ファイバチャネルインターフェイスを作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Physical Attributes ペインで、**Switches > Interfaces > Ethernet > FCoE** を展開して、**Virtual FC Interfaces** を選択します。

ステップ 2 Information ペイン ツールバーで、**Create Row** アイコンをクリックします。

Virtual Ethernet ダイアログボックスが表示されます (図 9-7 を参照)。

図 9-7 仮想ファイバチャネルの作成



ステップ 3 Switch プルダウンメニューからスイッチを選択します。

ステップ 4 VIG ID フィールドに、VIG ID を入力します。インターフェイス ID は、1 の値に設定されています。

ステップ 5 **Create** をクリックします。

仮想ファイバチャネルインターフェイスの削除

仮想ファイバチャネルインターフェイスを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Physical Attributes ペインで、**Switches > Interfaces > Ethernet > FCoE** を展開して、**Virtual FC Interfaces** を選択します。

Virtual Fibre Channel Information ペインが表示されます。

ステップ 2 Information ペインの仮想ファイバチャネルの行を選択します。

ステップ 3 Information ペイン ツールバーで、**Delete Row** アイコンをクリックします。

ステップ 4 ダイアログボックスで削除を確認します。